

ラーガとは何か？

ラーガ(音階型ともいえる)を要約すると、次のようにいえる。

1オクターブ12音の順列組み合わせによって作られうる音階型は無数にある。そうした無数の組み合わせの中から、音楽的な美を満たす配列が整理され、その一つ一つに名前が付けられる。それらの配列には特有の音楽的ムードがあり、そうしたムードにふさわしい感情、時間、季節などの性格が付与されたものがラーガだといえる。

しかし、ラーガを単なる音階型と理解してしまうと、混乱するおそれがある。なぜなら、まったく同じ音階なのに異なったラーガもあらからだ。B.C.デーヴァは、ラーガの文法を次のように定義している。

- 1.ある定まった音列をもつ。
- 2.ラーガの最小音数は5、最大は9である。(ただし例外はある)
- 3.固有の上がりかた、下がりかたがある。
- 4.固有の旋律単位がある。
- 5.固有の強調音、開始音、終始音がある。
- 6.固有のアクセント、修飾技法がある。

# タート分類

タートというのは、1オクターブのなかのどの音が使われているかに基づいて分類する場合の元になる音階のことである。バートカンデーは、下記の10種類のタートによってラーガを分類した。ラーガの分類法は他にもあるが、この方法は現在でも一般的である。(HIROS' WEBより引用)

## ●10種のタート

- ・ ビラーワルBilāval C D E F G A B C'
- ・ カマーシKhamāj C D E F G A B ♭ C'
- ・ カーフィーKāfī C D E ♭ F G A B ♭ C'
- ・ アーサーワリーĀsāvarī C D E ♭ F G A ♭ B ♭ C'
- ・ バイラヴBhairav. C D ♭ E F G A ♭ B C'
- ・ バイラヴィーBhairavī. C D ♭ E ♭ F G A ♭ B ♭ C'
- ・ カリヤーンKalyān. C D E F# G A B C'
- ・ マールワーMārvā. C D ♭ E F# G A B C'
- ・ プールヴィーPūrvī. C D ♭ E F# G A ♭ B C'
- ・ トーディーTodī. C D ♭ E ♭ F# G A ♭ B C'

# Raga Saraswati

ラーガ・サラスヴァティ



Saraswati とは？



**サラスヴァティー, サラスワティー**（サンスクリット語: सरस्वती）

は、**芸術・学問**などの知を司る**ヒンドゥー教の女神**である。

日本では**七福神**の一柱、**弁才天**（弁財天）として親しまれており、**仏教**伝来時に『**金光明経**』を通じて中国から伝えられた。

出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia) 』

<https://ja.wikipedia.org/wiki/サラスヴァティー>

# ラーガ・サラスヴァティ

## Saraswati

- 演奏時間帯= 夜9時～12時 (日没後または深夜)
- タート That= Kalyan
- vadi : Pa (G)    samvadi : Ri(D)
- aroha = Sa(C) Ri(D) Ma(F#) Pa(G) ni(B ♭) Dha(A) Sa'(C')  
→ Sa(C) Ri(D) Ma(F#) Pa(G) ni(B ♭) Sa'(C')
- avarohana = Ri'(D') ni(B ♭) Dha(A) Pa(G) Dha(A) Ma(F#) Pa(G) Ma(F#) Ri(D) Sa(C)  
→ Sa'(C') ni(B ♭) Dha(A) Pa(G) Ma(F#) Pa(G) Ma(F#) Ri(D) Sa(C)  
→ Sa'(C') ni(B ♭) Dha(A) Pa(G) Ma(F#) Ri(D) Sa(C)

- Sa(C) Ri(D) Ma(F#) Pa(G) ni(B ♭ )Sa'(C')
- Sa'(C') ni(B ♭ ) Dha(A) Pa(G) Ma(F#) Ri(D) Sa(C)



Raga

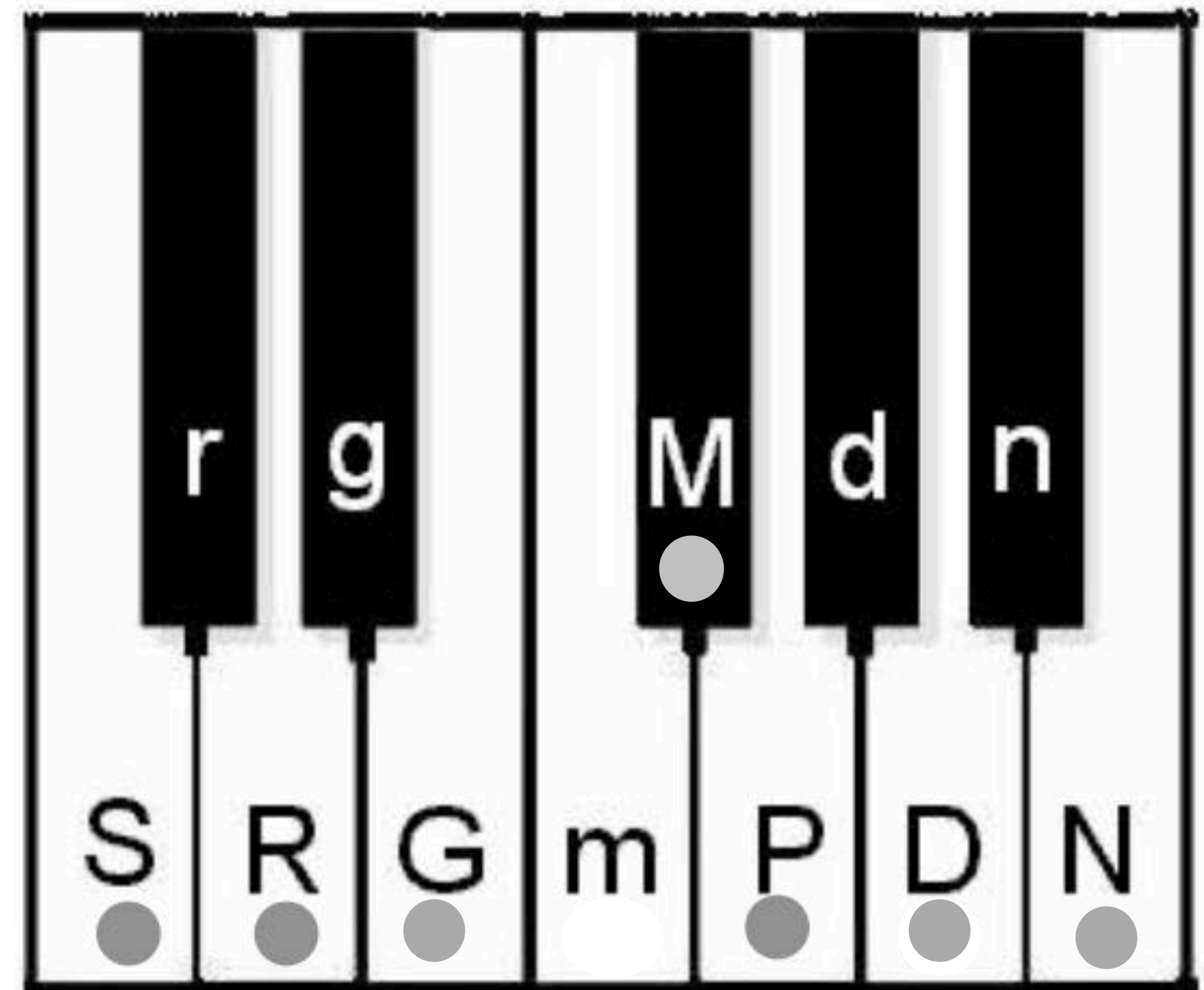
Saraswati

swaras

# タート That= Kalyan

Sa Ri Ga Ma Pa Dha Ni Sa'

C D E F# G A B C'



A musical staff in common time (C) with a treble clef. The notes are: S (C4), R (D4), m (E4), P (F4), n (G4), D (A4), and S' (B4). The notes are placed on the lines of the staff: S on the first line, R on the second line, m on the first space, P on the second space, n on the third space, D on the fourth space, and S' on the fifth line. A double bar line is at the end.

A musical staff in common time (C) with a treble clef. The notes are: R' (C5), n (D5), D (E5), P (F5), D (G5), m (A5), P (B5), m (C6), R (D6), and S (E6). The notes are placed on the staff: R' on the first space, n on the second space, D on the third space, P on the fourth space, D on the fifth line, m on the first space below the staff, P on the second space below the staff, m on the third space below the staff, R on the fourth space below the staff, and S on the fifth line below the staff. A double bar line is at the end.

nS RMM MMP

Sarasvati Paavani

nDPMR SnS

Ah~~~ Aheem

パカル(特徴的な動き)

$M P n D P,$

$S' n D P, M M P (M) R S$

$R M P D n D$

$P M D P, M R M P$

$D S' n D$